

令和6年度 第84回通常総会

岡森連時報



令和6年度 第84回通常総会
岡山県森林組合連合会

県森連小野会長による挨拶

ご支援によ
様の「協力・
関係者の皆
員をはじめ
に触れ、会
録したこと
8千m³を記
材積、24万
する総取扱
年度に匹敵
記録した昨
過去最高を
販において
ある木材共
主力事業で
ととともに、
謝を述べる
ことへの感
に様々な形でご協力いただいた



伊原木岡山県知事

ます。こうした中、森林組合系
建住宅の着工数減少など、先行
きは極めて不透明な状況にあり
て、

ととともに、3割程度に留まっ
いる再造林の推進に向け、「再
造林とその後の下刈り経費を独
自に支援する事業」や「苗木運
搬用ドローンを活用した省力化
林業の推進」、「岡山県産材森
林認証合板の販売」などに取
組むとともに、担い手の確保・
育成が重要であることから、
「現場作業員の新規雇用支援」
や「緑の雇用事業」等による専
門的な知識・技術を備えた人材
の育成を行っており、こうした
取り組みを通じて、山元への一
層の利益還元を図りたいと考
えているところであります。」と
来賓には、伊原木岡山県知事、

6月29日午前11時
から、岡山県森林組
合連合会本会におい
て、第84回通常総会
を開催し、令和5年
度事業報告をはじめ、
8議案が上程され、

審議の結果、全て原案どおり可
決・承認されました。
冒頭、小野会長は5月26日に
天皇皇后両陛下の御臨席のもと、
岡山県で57年ぶりに開催された
全国植樹祭において会員の皆様
に様々な形でご協力いただいた

木材取扱高 24万8千m³ 過去最高の昨年度に迫る

るものであ
ると重ねて
感謝の言葉
を述べ、続
けて『新型
コロナウイ
ルス感染症
の5類への
移行で社会
経済活動は
正常化して
きましたが
、不安定な
国際情勢や
急激な円安
・物価高な
どの影響に
よ



農林中央金庫岡山支店 奥田副支店長

「中間土場
におけるサ
テライト共
販」の拠点
を増やすな
ど、県産木
材の安定供
給に努める
ことに加え、

統としましては、森林資源の循
環利用を図りながら、国産材の
安定供給に努めていく必要があ
ると考えており、全国の森林組
合の系統運動方針『JForestビジョ
ン2030』のもと、県森連におき
ましても、

感謝状贈呈

系統利用優秀森林組合
(年間取扱1億円以上)

- 新見市森林組合
- 真庭森林組合
- 津山市森林組合
- 作州かがみの森林組合
- 美作東備森林組合

新任組合長

今年度、森林組合の役員改
選に伴い、新たに就任された
組合長をご紹介します。

○岡山森林組合
代表理事組合長 明樂 浩志

岡山県で第74回全国植樹祭

1967年以来 57年ぶり2回目の開催



天皇皇后両陛下の御臨席のもと、5月26日岡山市のジップアリーナ岡山において、第74回全国植樹祭が「晴れの国光で育つ緑の心」をテーマに開催されました。岡山県では、昭和42年（1967年）に第18回大会が開催されて以来、57年ぶり2回目の開催で、全国から招待者等約3,000人が参加しました。

式典では伊原岡山県知事の挨拶の後、天皇陛下が「林業のサイクルを循環させる取り組みが推進されるとともに少花粉スギやヒノキへの植替えが進められるなど、森林が守り育てられていることを喜ばしく思います。循環型の木材の利用や健全な森林づくりの輪が、ここ岡山の地から全国へ広がり、そして将来の世代へとつながっていくことを願います。」とお言葉を述べられました。

その後、林業の振興や緑化推進など、様々な分野での功労者への表彰が行われました。

天皇皇后両陛下によるお手植えでは、天皇陛下は岡山県を代表するアカマツ（桃太郎松）、少花粉ヒノキ・スギを、皇后陛下は岡山県にゆかりのあるクロガネモチ、アテツマンサク、キクザクラを植樹され、介添えはみどりの少年隊が務めました。アトラクションでは、地元を未来へ引き継ぐことを決意する生徒たちの姿を描いた演劇が披露され、びほく森林組合の三村参事らによって森林資源の循環利用促進などを盛り込んだ大会宣言が読み上げられ、採択されました。

全国植樹祭の開催に

組みが推進されるとともに少花粉スギやヒノキへの植替えが進められるなど、森林が守り育てられていることを喜ばしく思います。循環型の木材の利用や健全な森林づくりの輪が、ここ岡山の地から全国へ広がり、そして将来の世代へとつながっていくことを願います。」とお言葉を述べられました。

その後、林業の振興や緑化推進など、様々な分野での功労者への表彰が行われました。

天皇皇后両陛下によるお手植えでは、天皇陛下は岡山県を代表するアカマツ（桃太郎松）、少花粉ヒノキ・スギを、皇后陛下は岡山県にゆかりのあるクロガネモチ、アテツマンサク、キクザクラを植樹され、介添えはみどりの少年隊が務めました。アトラクションでは、地元を未来へ引き継ぐことを決意する生徒たちの姿を描いた演劇が披露され、びほく森林組合の三村参事らによって森林資源の循環利用促進などを盛り込んだ大会宣言が読み上げられ、採択されました。

全国植樹祭の開催に

岡山県緑化関係表彰 受賞

— おかやま森づくり未来賞 —
岡山県森林組合連合会

第74回全国植樹祭の式典において行われた林業の振興などの功労者への表彰で、当会が岡山県緑化関係表彰（おかやま森づくり未来賞）を受賞しました。



特別表彰記念品 組子細工



県産材ヒノキ製演台(会場設営の様子)

当たって、当会では様々な取り組みを行っており、協賛金の寄付や地域植樹の準備のほか、植樹祭式典で使用された岡山県産材ヒノキ製の演台2基とリレーセレモニーで利用されるシンボル台2基を農林中央金庫岡山支店と連携し作製するなどしました。

ECO & MOK ハレひろば

～環境・森林・林業・木材関連展示PR会場～

全国植樹祭式典会場に隣接する広場に県内の製材所やメーカーなど当会を含め、計36のブースが出店し、環境配慮製品・技術・取組や森林・林業・木材関連の製品・技術・取組などを紹介しました。

当会のブースでは、約3割の実施にとどまる再造林を促進するため、再造林とその後の下刈りに要する経費を支援する皆伐・再造林促進支援事業や、造林作業等の労働強度低減を目的としたドローンの活用などの紹介を行ったほか、岡山県産材森林認証合板の展示、岡山県産ヒノキを使ったSDGs木製ピンバッ

ました。

森林所有者や林業従事者の所得向上のため、県内に設置した原木市場での競り売りによる木材の有利販売や、県産森林認証材を使用した合板の製造販売に取り組んでいること。また、再造林を促進するための造林及び下刈りに要する経費の支援や、ドローンを活用した林業資材等の運搬による労務軽減及びコスト削減など、適切な森林整備の促進に貢献していることが評価されました。



ジ等の販売を行いました。

式典開始前には多くの県内外招待客の皆様に当会のブースに立ち寄っていただき、商品を手にとり取られる方や展示パネルやドローンなどを興味深そうに見られ、質問される方などがおられました。

◀ ハレひろば ブースの様子



第52回全国林業後継者大会 岡山県で初開催

第52回全国林業後継者大会が5月25日、津山文化センターにおいて開催され、全国の森林・林業関係者ら約300人が参加しました。

全国林業後継者大会は、全国植樹祭の関連行事として昭和45年から毎年開催されているもので、岡山県においては初めての開催となりました。



パネルディスカッションの様子

携し森林所有者等へ実務研修の実施、林業体験や児童等への森林環境教育などの啓発活動についての取り組みを紹介されました。

「未来へと森林(もり)と技術(わざ)をつなげよう」を大会テーマに開催された今大会では、久米郡森林組合をはじめとする県内の4団体から活動発表があり、久米郡森林組合の小嶋課長代理と横山技術員は、よみ豊かな森林を後世へ引き継ぐために、美咲町他関係団体と連

ルディスカッションでは、岡山大学大学院の嶋教授をコーディネーターに迎え、久米郡森林組合の池田参事や当会の奥山木材販売課長らが参加し、「共に始めよう植えること・育てること・使うこと」をテーマに担い手育成や森づくりの在り方について

天皇皇后両陛下と御懇談

一 県内の森林・林業の状況を説明 一

岡山県森林組合連合会
代表理事会長 小野 泰弘(おの やすひろ)

「找って、使って、植えて、育てる」という、森林資源の循環や、持続的な森林経営の実現に向け、県内11森林組合を束ねて、活動をけん引している。

近年では、充実した森林資源を背景に、ヒノキの丸太生産が全国上位にあり、長さ、太さ別に整理し、県内外に販売している。また、再造林の促進やバイオマス燃料の供給、県産材を使った各社の販売などに取り組み、岡山県の森林・林業を支えている。

全国植樹祭前日の5月25日、岡山コンベン

ションセンターにおいて、緑化功労者らと天皇皇后両陛下が御懇談され、

天皇皇后両陛下御懇談 説明パネル

説明をしました。

開設60周年記念市 新見木材共販所



開市の様子

4月23日、新見木材共販所において開設60周年記念市が開催されました。ヒノキを中心とした約4,000㎡の出荷があり、当日はギツンカーやコーヒール、ビールが当たる木製ガチャなどのイベントもあり、約100名が来場するなど賑やかな様子

新見木材共販所 60年のあゆみ

- S39・8・3 開所(新見市水船)
- S42・4・9 第18回全国植樹祭(岡山県初開催)
- S51・11・8 移転(新見市下熊谷)
- R6・4・23 開設60周年記念市
- R6・5・26 第74回全国植樹祭(岡山県2回目)



新見木材共販所 60周年記念市の様子 ▲昭和50年代の様子 ▼



意見が交わされ、最後に「林業労働力の確保と育成・安定的な苗木生産・再造林に対する支援が必要、伐って使うだけでなく植えて育てる意識改革が必要」と嶋先生によりまとめられました。

第3回木工教室を開催

次回開催は8月17日
岡山県産材ショップ

6月22日、岡山県産材ショップ(当会木材センター運営)において第3回木工教室を開催しました。当日は雨が心配されましたが、開催中は概ね天気を持ち、多くの参加者で賑わうイベントとなりました。

3回目となる今回の木工教室では、(有)SHINから講師を招き、岡山県産材森林認証合板を使用した背もたれ椅子と丸椅子の作成を行いました。参加者からは「講師の先生の説明が優しく、分かりやすい」「夢中になっ



イベントの様子

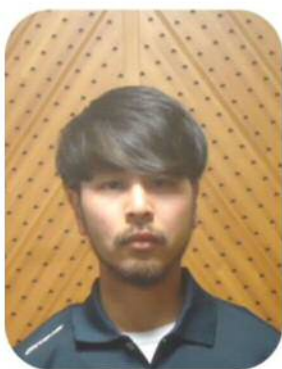
新入職員紹介

はつらまっしゅ!!

県内の森林組合系統に新たに入った職員の方を紹介させていただきます。(順不同)

○所属・お名前

○趣味や特技、休日の過ごし方
抱負など自己紹介



新見市森林組合 片岡 祥一

趣味：音楽鑑賞、作曲、哲学、仏教、縄文、散歩、焚き火、キャンプ
休日の過ごし方：都会に疲れて新見市内の祖母の家に移住してきました。農業・趣味に没頭したりと、ど田舎ライフを満喫中です。
抱負：もちろん安全第一！そして、愛の実践として造林に取り組んでいきます！



びほく森林組合 村上 暁亮

趣味：読書・散歩
休日の過ごし方：部屋の掃除や古民家巡り
抱負：初めての事ばかりなので事故や大きな怪我なく過ごしたいです。



岡山森林組合 石本 加菜子

休日は子供と遊びに出かけたり、ペットのハムスターのお世話を一緒にしています。
精一杯頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひ致します。



新見市森林組合 倉光 柊成

趣味：重機のプラモデル作り
休日の過ごし方：実家は米子市で、新見市内の祖父母の家からにちなん林業アカデミーに通い、卒業後就職しました。現在も祖父母の家に住んでいるので休日は農作業の手伝いをさせられています。



県森連新見支所 松尾 浩志

5月1日付けで新見共販所に配属になりました。真庭市出身で中高は陸上部でした。休日は、ペットの猫2匹と犬1匹に癒やされています。前職の経験を生かしながら早く環境に馴染んで頑張っていきたいと思ひます。



新見市森林組合 水田 圭亮

昨年度までは、おかやまの森整備公社に勤めていましたが、植林等にも取り組みたいと思い転職しました。信頼される職員になれるように頑張ります！
休日の過ごし方：子どもと公園で遊ぶことです



県森連津山支所 黒簾 義昌

趣味はカラオケで、氷室京介のファンです。友人と飲みに行った後、歌いに行くことがあります。異業種からの転職ということで、ご迷惑をおかけすることがあると思ひますが、頑張りますので、ご指導のほどよろしくお願ひします。

若手職員研修を終えて

津山支所 藤長啓太

5月の連休明け、東京で開催された令和6年度全国若手職員研修会に岡山県を代表して参加しました。

研修1日目は、森林組合連合会職員として必要となる基礎的なスキルや知識を講義で学び、2日目は「連合会職員としてこれから取り組むこと・身に付けること」というテーマでグループワークを行いました。

研修に参加したことで、講義の内容はもちろんですが、特に他県の森林組合連合会の職員たちと交流が持てたことに大きな意義があったと感じました。共販業務等の知識を高めて全国の同年代の職員に負けないよう、スキルアップした自分を次の研修で見せられるよう、引き続き日々の業務を頑張りたいと思ひます。



グループワーク発表の様子

県森連 新たな独自支援策

資格取得を支援

当会では平成27年度から開始した皆伐跡地への再造林・下刈りの経費の一部を助成する「皆伐・再造林促進支援事業」のほか「岡山県林業改良普及協会への入会助成」「現場作業員の新規雇用支援」など各種助成事業を実施していますが、今年度から新たに「森林組合監査士養成促進事業」を開始します。

森林組合監査士

取得を支援

1人当たり5万円

森林組合職員の森林組合監査士（以下、監査士）の取得を支援する「森林組合監査士養成促進事業」を今年度から新たに開始しました。

当事業は令和6年度森林組合監査士試験の新規受験者1人当たり5万円を森林組合に交付す

新規雇用支援

6組合9名に支援

るといふもので、監査士に必要な学識及び指導力を身に付け、当該組合の内部監査においても現状改善及び向上の指導、助言の行える人材育成のため、森林組合職員の受験を支援する取り組みとなっています。

森林組合の経営拡大や地域の実情に応じた多彩な事業展開等の推進を図るため、森林組合の

資格取得・新規雇用促進事業の概要

森林組合監査士養成促進事業	
助成額	新規受験者1人当たり5万円
対象	令和6年度森林組合監査士試験(合否不問)
現場作業員の新規雇用促進支援事業	
助成額	新規雇用者1人当たり10万円
条件	下記の条件全てを満たす者を雇用した場合 1. 令和5年度中に雇用された者。 2. 林業労働に年間210日以上従事する見込みがある者。 3. 期間の定めなく雇用された者。 4. 社会保険および各種退職金共済に加入している者。
期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日

林業労働に従事する現場作業員の新規雇用を支援する取り組みを昨年度、新たに開始したところ6組合から計9名の申請がありました。今年度も事業は継続し、支援内容は昨年同様、新規雇用者1人

緑の雇用事業スタート

当たり10万円を森林組合に交付するといふもので、申請期間は令和6年4月1日から令和7年3月31日となっています。

令和6年度「緑の雇用」担い手確保支援事業には、県内の32事業体から参加があり、OJT研修が6月からスタートし、集合研修についても6月3日の1年目の研修第1期を始まりに、順次開催しています。



集合研修でのグループワーク風景

今年度の「緑の雇用」の研修生は、1年目16名、2年目16名、3年目24名の計56名となっています。毎年多くの研修生が参加しており、積極的に講義を受けようとする姿が見られます。

現場研修については、県内の各事業体から現場に精通した講師を派遣していただき、伐倒、刈払い、ロープワーク、作業道開設、造材・集材などの研修を行っています。林業の基礎知識はもちろん、



集合研修での伐倒実習風景

さまざまな現場に必要な技術について研修していますが、なかでも労働災害防止については最も力を入れているところです。昨年度の研修生の事故は、全国で60件、他県では死亡災害も発生しています。年々減少傾向ではありますが、他の業種と比較するとまだまだ多いのが現状です。防護ズボン、ヘルメットなどの安全装備の重要性をしっかりとして理解してもらい、現場において何が危険なのか、どこに危険が潜んでいるのかを徹底して研修しています。研修は始まったばかりですが、研修生には、研修を通じてお互いに成長してもらい、これからの岡山県の林業を盛り上げていくことを期待しています。

第36回

岡山県民有林優良材展示コンクール

岡山県森林組合連合会では、優良材の振興を図り国産材の安定供給及び本県林業の発展を期することを目的として『岡山県民有林優良材展示コンクール』を開催いたします。多数参加（出品）されますようご案内申し上げます



日時 令和6年11月8日(金)
開市 午前9時

場所 岡山県森林組合連合会 津山木材共販所
津山市一宮1189 ☎(0868)28-1118

■出品資格
県内民有林で私有林・公有林(県有林除く)の造林者

■出品受付
令和6年10月1日(火)～10月31日(木)

◎主催 岡山県森林組合連合会

◎後援 岡山県・近畿中国森林管理局(岡山森林管理署)
◎協賛(一社)岡山県木材組合連合会・農林中央金庫岡山支店・全国森林組合連合会

林業就業ガイダンス開催



昨年度ガイダンスの様子

当会が事務局を受託している(公財)岡山県林業振興基金(以下、基金)が、8月10日「晴れの国おかやま林業就業ガイダンス」を開催します。

当日は、岡山県内での林業への就業に関心がある方々を対象に、基金や津山市、美咲町などの市町村がそれぞれブースを設け、県内の林業の特色や地元的林業事業者の求人、移住についての情報提供などを行います。また、林業体験の実施も予定しており、チェーンソーでの玉切りやグラブの運転、シミュレーターを用いたハーベスタの操作など、林業機械の操作を実

際に体験できます。場所は、県森林研究所(勝央町植月中)の林業技術研修棟で、午前10時から午後3時まで開催します。林業に興味がある方、就職・転職を考えている方がいらっしゃいましたら是非ご紹介ください。今年度は令和6年8月10日(土)と、令和7年1月11日(土)の2回の開催を予定しているの、詳しくは岡山県林業振興基金HPをご確認ください。



第31回加茂地区木材組合特別市



式典で挨拶する内田雅章組合長

加茂地区木材組合が主催する特別記念市が5月29日、津山木材共販所において開催されました。当日は天気にも恵まれ、加茂

開市に先立ち行われた式典では加茂地区木材組合の内田組合長が「天候もよく絶好の市日和、多くの買い方の方々を迎え開催できることに感謝申し上げます。本日の五月晴れの様に全量が良い相場で購入していただけばと思います。」と挨拶され、来賓の谷口

▶ 記念市 競り売りの様子



津山市長からは「木材の需要喚起が重要、市としても皆伐・再造林支援策などによって地域材の需要拡大、木材産業の元気につなげたい」との祝辞が述べられました。続いて、来賓として式典に招かれた当会の池田代表理事専務は、当会で行っている皆伐・再造林支援についての紹介、また、当記念市を当会津山木材共販所で開催していただけのことへの感謝の言葉を述べました。

第31回加茂地区木材組合特別記念市

津山市長からは「木材の需要喚起が重要、市としても皆伐・再造林支援策などによって地域材の需要拡大、木材産業の元気につなげたい」との祝辞が述べられました。続いて、来賓として式典に招かれた当会の池田代表理事専務は、当会で行っている皆伐・再造林支援についての紹介、また、当記念市を当会津山木材共販所で開催していただけのことへの感謝の言葉を述べました。

スギ花粉採取事業



▶ 花粉採取の様子

当会では昨年度から花粉症対策の一つとして舌下免疫療法治療薬の原料となるスギ花粉を採取する事業を開始しました。当該療法薬を製造する鳥居薬品㈱(本社・東京都中央区)と売買契約を締結し、令和6年1月から真庭市勝山と岡山市(本会)の2箇所のビニールハウスを使って花粉採取を開始しましたが、実付きの良いスギ枝の確保に苦勞したため、採取量は約18kgと、計画を大きく下回る結果となりました。今年度は、目標採取量を80kgとし、達成のため、早期に実付きの良いスギの木を探索し、事前に所有者の承諾を得ておくこ

スギの枝 買います！

- ◆ 実付きの良いスギ枝を1本100円で買い取ります。
- ◆ 実付きの良いスギの木の情報提供をお願いします。高所作業車が設置できるところは、枝の採取に伺います。

お問い合わせは
岡山県森林組合連合会 業務課 真庭市勝山1884-6
電話：0867-44-2691 email: ok-gyomu@okmoriren.or.jp



実付きの良いスギ枝

とや採取予定マップの作成、スギ林の伐採作業予定の情報提供依頼などを行う予定です。